

第6期四谷地区協議会会議録

分科会名	第1分科会	開催回	第9回
開催日	平成28年1月19日(火) 18:30~20:00		
出席者	委員 7名	その他	特別出張所職員1名
議題	1 テーマ別活動について		
	2 タブロイド版地区協議会特集号について		

1. テーマ別活動について

(1) 四谷のお宝さがし

- 一般のお宝の応募は12点。鑑定会を実施し出品者3名が出席した。また、鑑定士1名、新宿歴史博物館学芸員2名が出席した。
- 鑑定会に持参されたお宝は、「成瀬巳喜男の台本」「横山大観の掛軸(複製)」「戦時中の新聞」のほか、委員が預かってきた「防火手箱」の4点。
- 出席者からお宝にまつわるエピソードが披露された。
- 「古白薩摩焼の壺」については、後日鑑定士と学芸員が現物を見て鑑定することとなった。
- 後日鑑定する1点を除き、すべてのお宝の賞名が決定した。

(2) 観光まちづくり

- 1月25日(月)に冊子作りの打ち合わせ、意見交換を行う。
- 3月までに「まち歩き手帖3」を発行する。

(3) 四谷駅前まちづくり協議会

- 担当者欠席の為、特になし

(4) 国立競技場建て替え工事

- 担当者欠席の為、特になし

(5) 「コミュニティバス」を検討する(主な意見)

- 勝本委員から千代田区の地域福祉タクシー「風ぐるま」の資料が示された。
- 「風ぐるま」は高齢者、妊婦向けの福祉タクシーである。
- 四谷地区で福祉施設を利用している人には、施設の専用バスが出ている。
- 千代田区には施設のバスもあり、さらに「風ぐるま」もある。
- 「風ぐるま」の資料をどのように四谷に活かせるのかを検討する。

- ・四谷地区の高齢者はタクシーを利用している人が多い。
- ・子供連れの方は、ベビーカーをたんでバスに乗ることを敬遠し、電動自転車を利用している。
- ・国立競技場、千駄ヶ谷、信濃町の駅と駅の間が遠く不便である。
- ・坂の下から上に上がるだけのバスではなく、四谷全域を回るバスの運行を検討した方が実現する可能性があるのではないか。
- ・オリンピックに乗じて四谷を活性化させるバスの運行を考えてはどうか。
- ・今後検討するバスは「病院に行くだけのバス」「施設を回るバス」「史跡を回るバス」等、テーマを決める必要がある。
- ・以前 WE バスを四谷まで延長してほしいと区に依頼したが、予算がないので無理だと言われた。
- ・WE バスを延長するための予算を区にたててもらってはどうか。
- ・停留所を新設することは難しいが、東京都交通局に聞いたところ、都バスに影響がなければ今残っている停留所を利用出来るかもしれないと言われた。
- ・四谷三丁目～四谷間にバスを運行させたい。
- ・地下鉄と違い、バスは景色を眺めながら移動できる。
- ・国立競技場から四谷に出られると便利である。
- ・屋根をガラス張りにする、レトロな車両にする等、四谷のPRになるバスを考えてはどうか。
- ・WE バスを延長してもらい、車体を区民と区がデザインしてはどうか。
- ・WE バスはホテルめぐりだけでは採算が合わないので、四谷まで伸ばして御苑を回り乗客を増やしている。
- ・WE バスの利用者の管轄は角筈出張所なので、四谷地区まで延長して本数が減ると利用者が減ってしまう。
- ・築地市場が移転するので、新宿からの延長については需要がある。
- ・銀座に直行便がなく赤坂見附で乗り換えなければならないので不便である。四谷三丁目や新宿から直行できれば便利である。
- ・WE バスを信濃町～四谷に伸ばしてもらってはどうか。
- ・今回のテーマの発端は病院に行く（福祉）という観点であったが、今後は観光スポットについて考えていく。
- ・シルバーパスの利用者の中には、別途100円でも払いたくない人が多いのではないか。

- 丸ノ内線、大江戸線導入後にバス路線が廃止されたことについては納得できない。
- バス路線が廃止された経緯、地域の反対運動の資料があるとよい。
- 前回の東京オリンピックでは高速道路が出来る等かなり変わったので、今回も期待している。
- エレベーターは各駅に順次設置されていく。

2. タブロイド版地区協議会特集号について

- 「四谷学」～地域を識る勉強会の紹介記事を確認した。
- 文学座の写真を最近のものに差し替える。

●次回会議日程

第1分科会 2月16日(火) 18:30～ 四谷特別出張所会議室

お宝さがし実行委員会 2月2日(火) 18:30～ 四谷特別出張所会議室

観光まちづくり実行委員会 1月25日(月) 14時30分～四谷特別出張所会議室